



平成 28 年 9 月 7 日

各 位

会社名 株式会社 ストリーム
 代表者名 代表取締役社長 劉 海濤
 (コード番号：3071 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理本部長 土屋 敏
 (TEL. 03-6858-8189)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 3 月 14 日に公表した平成 29 年 1 月期の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 1 月期 第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正(平成 28 年 2 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	12,543	77	70	61	2.25
今回修正予想(B)	11,295	138	124	91	3.37
増減額(B-A)	△1,247	61	53	30	—
増減率(%)	△9.9	79.3	75.5	50.1	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 1 月期第 2 四半期)	11,744	230	236	203	7.47

単位：百万円

2. 平成 29 年 1 月期 通期連結業績予想の修正(平成 28 年 2 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	25,651	513	500	388	14.27
今回修正予想(B)	23,008	513	500	388	14.27
増減額(B-A)	△2,643	—	—	—	—
増減率(%)	△10.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 1 月期)	23,018	375	376	304	11.18

単位：百万円

3. 平成 29 年 1 月期 第 2 四半期累計期間個別業績予想の修正(平成 28 年 2 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	7,548	95	87	3.23
今回修正予想(B)	6,805	26	22	0.84
増減額(B-A)	△743	△68	△64	—
増減率(%)	△9.8	△71.9	△74.0	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 1 月期第 2 四半期)	7,411	118	126	4.66

単位：百万円

4. 平成 29 年 1 月期 通期個別業績予想の修正(平成 28 年 2 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	15,348	312	287	10.57
今回修正予想(B)	13,858	312	287	10.57
増減額(B-A)	△1,490	—	—	—
増減率(%)	△9.7	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 1 月期)	13,711	158	159	5.84

単位：百万円

5. 修正の理由

(第 2 四半期連結業績予想修正の理由)

当社グループの売上高に関しましては、インターネット通販事業セグメントにおける本サイトの売上不振及びビューティー&ヘルスケア事業セグメントで展開する国内免税店における訪日観光客向けの売上減少、その他事業セグメントにおけるオンラインゲームの配信時期が当初計画から遅延したこと等により、当初の計画を下回りました。しかしながら、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益に関しましては、上記理由による減少があったものの、ビューティー&ヘルスケア事業セグメントにおいて広告宣伝費や旅費交通費、各種手数料等の見直し及び削減をした結果、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は当初計画より大幅に上回りました。

上記の事由により、当第 2 四半期累計期間の業績予想を修正するものであります。

(第 2 四半期個別業績予想修正の理由)

個別業績予想の修正理由は、連結業績予想に記載のインターネット通販事業セグメント及びその他事業セグメントの内容と同様であります。

(通期連結・個別業績予想の修正の理由)

通期の業績予想につきましては、売上高に関しましては連結業績及び個別業績ともに第 3 四半期連結累計期間以降も回復が見込まれないことから修正することといたしました。しかしながら、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益（個別業績においては当期純利益）に関しましては、引き続きグループ全体での販管費の削減やインターネット通販事業セグメントにおける各サイトの販売戦略見直し及び高付加価値商品や高粗利率商品等の商品特性を踏まえた価格政策による利益率の改善も見込まれることから、現段階におきましては連結業績及び個別業績ともに、平成 28 年 3 月 14 日に公表しました通期の予想数値を据え置いております。今後、更なる業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示する予定であります。

以上